

令和 3 年度難病療養事業の実施状況

(R3. 12 月末現在)

1. 療養支援教室

①リハビリ教室：理学療法士や作業療法士による椅子に座っての体操

参加実績

4 月 19 日	6 名	品川保健センター	9 月 16 日	8 名	荏原保健センター
5 月 20 日	8 名	荏原保健センター	10 月 18 日	11 名	品川保健センター
6 月 10 日	2 名	大井保健センター	11 月 18 日	10 名	荏原保健センター
6 月 21 日	9 名	品川保健センター (OT)	12 月 9 日	4 名	大井保健センター
7 月 19 日	5 名	荏原保健センター	12 月 20 日	11 名	品川保健センター (OT)

②音楽療法：声楽家の指導で上半身や表情筋等のストレッチや楽器演奏、音楽鑑賞など

参加実績

5 月 17 日	9 名	品川保健センター	10 月 5 日	7 名	荏原保健センター
6 月 15 日	6 名	荏原保健センター	11 月 4 日	5 名	大井保健センター
9 月 27 日	11 名	品川保健センター	12 月 21 日	6 名	荏原保健センター

<実施状況：感染防止策を講じたうえで開催>

外出の機会や人と会う機会が激減している中で、同じ病気の仲間に会えることを楽しみにされて参加している方が多い。

今年度再開した音楽療養教室では、季節の音楽を聴いたり、マスクの中でお口のストレッチや、横隔膜を動かす動きを通じて呼吸リハビリ動き、リトミックに近いような、ハミング程度で実施したりした。人と会う機会が減っていたので「発声がしにくくなった。」と話される方もいた。

③難病患者・家族のつどい

参加実績

8 月 23 日	12 名	品川保健センター
11 月 15 日	9 名	品川保健センター

<実施状況>

参加者同士の近況報告が活発に行われ、参加者からそれぞれの経験を交えた話やお互いの情報交換の場となった。療養教室内での交流がなくなった分、つどいに参加する人も多い。ADL が落ちてリハビリ教室に参加できない方が、参加している様子もあった。

2. 難病専門講演会

①区民向け講演会：テーマ「パーキンソン病を知りたい」 講師：黒田岳志先生

11 月 18 日（木）荏原第 5 地域センター 参加者 18 名 配信聴講者 22 名

感染対策のため後日配信もできるよう工夫した

アンケートによる参加者の意見・感想では満足度は高かった。

②支援者向け講演会：テーマ「ALS の疾病の理解と治療について」講師：藤元 流八郎先生
3 月 10 日（木）区役所講堂にて開催予定

3. リハビリ訪問相談

R2 年度 1 件 利用者疾患名 筋萎縮性側索硬化症

相談内容 在宅でのリハビリについて、在宅改修についての助言、家族へ介助の指導

R3 年度 1 件 利用者疾患名 パーキンソン病

相談内容 在宅でのリハビリについて、歩行時の杖の使い方について

4. 難病患者・家族への情報発信について

難病患者・家族向けのご案内リーフレット・療養教室の案内の作成
ホームページからも見ることをできるようにした

5. 在宅難病患者訪問診療事業：医師会

R2 年度

品川区医師会	延 16 名
荏原医師会	延 4 名

6. 在宅難病患者一時入院事業：東京都

R2 年度 延べ 2 名利用（大井：2 名）

R3 年度 延べ 4 名利用（品川：1 件、大井：3 件、）